

地域連携ネットワーク構築支援 成果報告

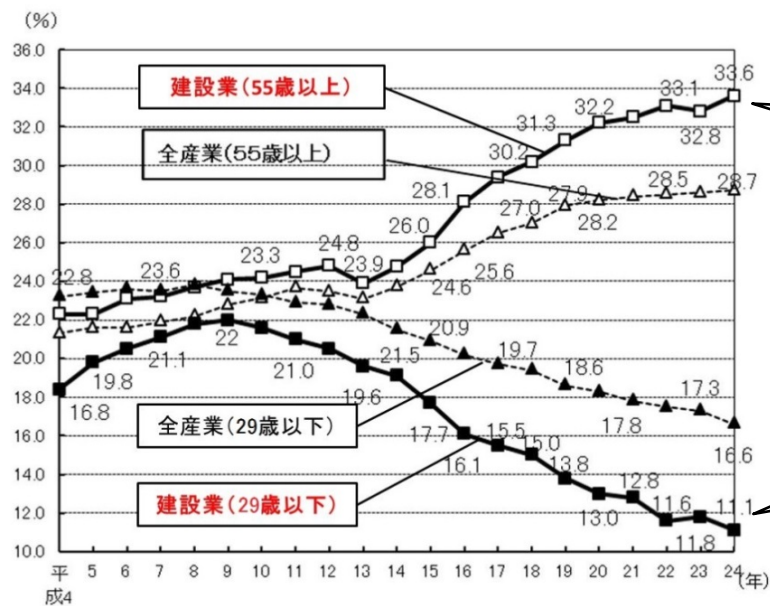
2016年2月4日

群馬県板金工業組合

業界における課題

専門工事業の課題

- ・職人の減少、高齢化が進み、不況時に仕事が減少したときに他の業界に行く若者が増加した
- ・この業界に入職したが、育成システムがなく、業界を離れていく若者が多い
- ・55歳以上が30%を超える状況で、10年後には職人は大幅に減少する



建設業は55歳以上が33.6%と全産業平均より5ポイント高い。

逆に29歳以下が11.1%となり、全産業平均より5ポイント以上低い。

出所：総務省「労働力調査」

人材育成の実施

体系的なOff-JT教育の体制をつくり、より実践的な訓練を行うために、2011年に建築板金業の訓練施設を立ち上げた。

初期は4名からスタートした。



それにより下記の効果が上がった

- ・3か月の教育で実践的な技能が身につき、先輩職人が驚くほどの戦力となった
- ・安心して現場に出られるため、退職率が大幅に減り、ほとんどが残った
- ・マナーや安全管理など、現場に出す前に身に着けることで評価が上がった

各団体から視察

平成26年7月14日(月)

国土交通省、(一財)建設業振興基金、全国建設業協同組合連合会、群馬県建設業協会、沼田市役所の幹部の方々に視察いただいた。

建設業の人材育成の手法として、より広いエリアで展開出来るようなモデルになると、高い評価をいただいた。



新たな構想

視察をしていただいた事で、テクノアカデミー構想が生まれた

- ・より多くの人材育成を行える設備の構築
- ・体系的な教育カリキュラムを構築
- ・他業種との連携により、幅広い人材を育成する
- ・モデルを作り上げ、全国へ展開する

これらを実現するために、新たなネットワーク組織が必要と考えた。

この構想が実現するために必要な市場調査及び事業計画の立案を行うために、今回の調査事業に応募させていただいた。

市場調査

8月に調査委事業を行った

専門工事業者の中で法人化をしている従業員5名以上の企業を中心に、アンケート調査を行った。

- 重点エリア : 関東甲信越エリアの専門工事業者
- その他 : 上記以外、全国エリアの専門工事業者
- 調査内容 : 雇用の状況、退社理由、教育の実施状況、待遇改善について、教育体制で臨むことなど
- 有効回答数 : 82社

調査結果

今回のアンケート調査により下記の内容が見えた。

求人について

- ・人の募集は行っているが応募がないという企業が63%
- ・また、人は足りないが応募しても来ないので求人活動を積極的に行っていないという回答が25%

教育訓練について

- ・現場に出す前に初期教育を行っている企業は2割
- ・初期教育の日数も2日ほどで、ほぼ現場で教える仕組みになっている

自由意見

- ・毎年1～2名ではあるが新卒者を採用できているので、定着及び早期戦力化のために体系的な教育・訓練システムの構築が急務である。
- ・雇用については受け入れ体制が整ってさえすれば問題ないが、育成は簡単な事では無い。時間はあっても育成の場が無いことも問題。

実践的な訓練施設への興味は82%の方が「大変興味がある」「資料がほしい」との回答であった。

各団体とのミーティング

＜参加団体＞

- ・国交省
- ・(一財)建設業振興基金
- ・沼田市
- ・全国建設業協同組合連合会
- ・専門工事業社
- ・群馬県板金工業組合

など



各種情報をもとにミーティングを重ね、具体的な事業計画を立案する。

全国の専門工事業者が必要とする訓練施設の構築に向けて具体的な行動内容、収支予測、訓練生の募集の可能性を判断する。

一般社団法人の設立



短期育成型技能訓練校 一般社団法人 利根沼田テクノアカデミー

<理念>

建設業の魅力を伝え、担い手の雇用育成を行う事で、地域産業の活性化を目指す

人材確保・育成

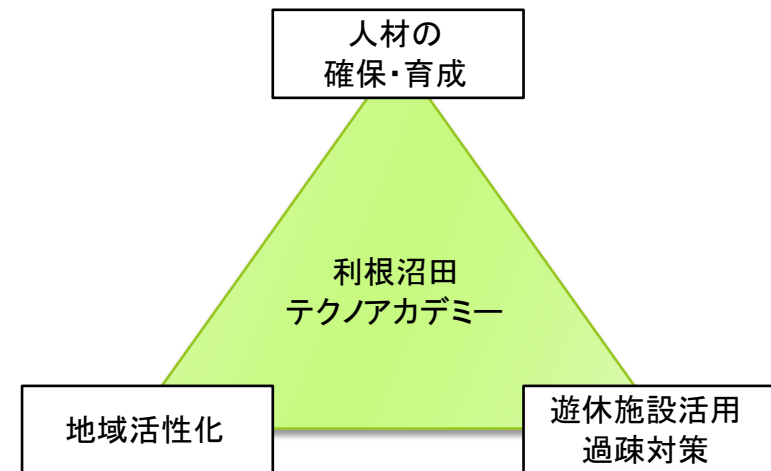
建設業の魅力を伝え、若手人材を確保し、短期間に即戦力化できる教育体制を作り上げます。

地域活性化

地域に密着した育成プログラムにより、地元で働く若者を増やし、他産業まで含めた地域全体の活性化を目指します。

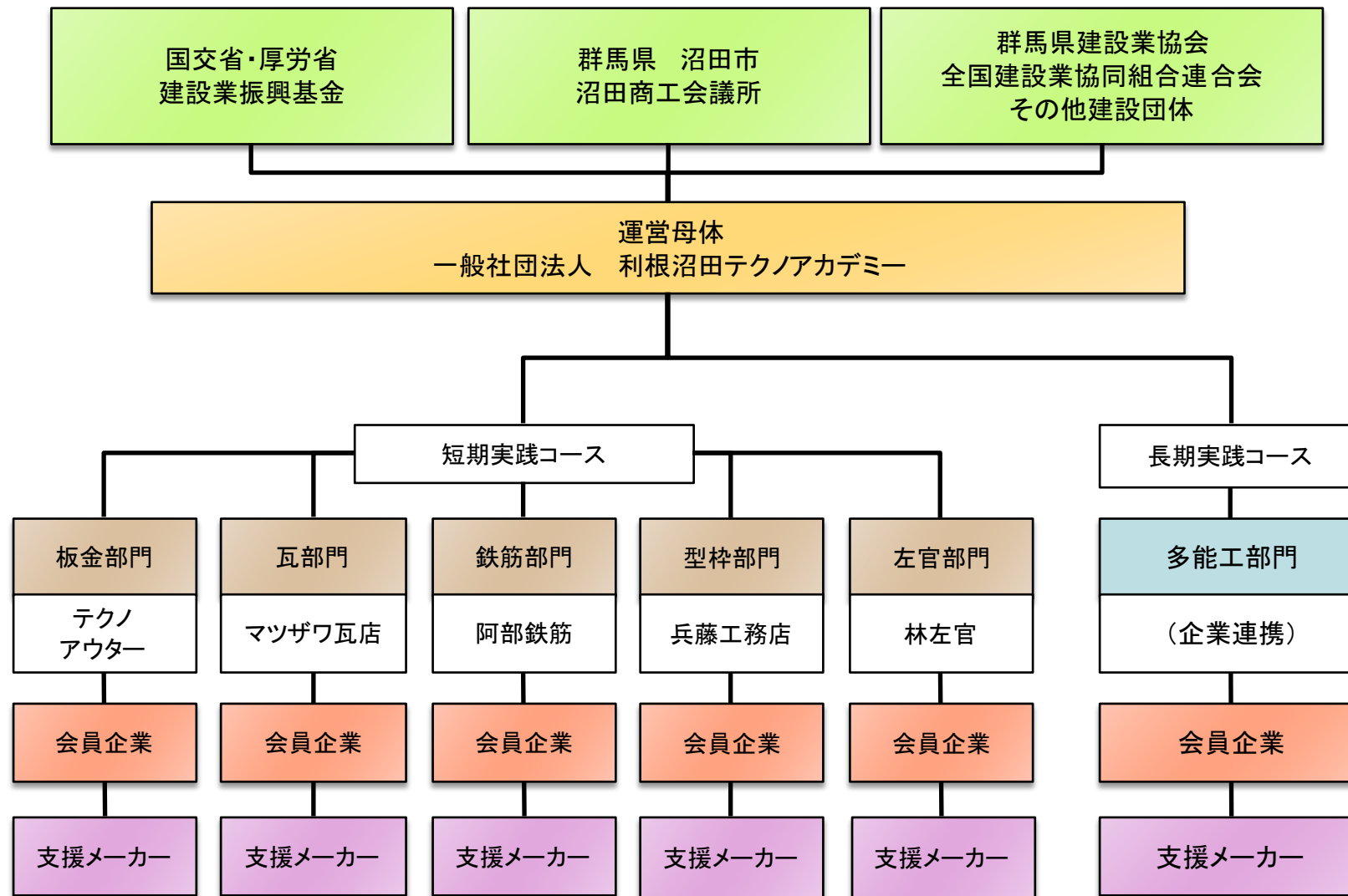
遊休施設活用・過疎対策

遊休施設を最大限に活用することで低予算で実現します。また、安全安心に暮らせる地域として健全に保たれるよう、過疎対策への貢献を目指します。



【沼田市デルタモデル】

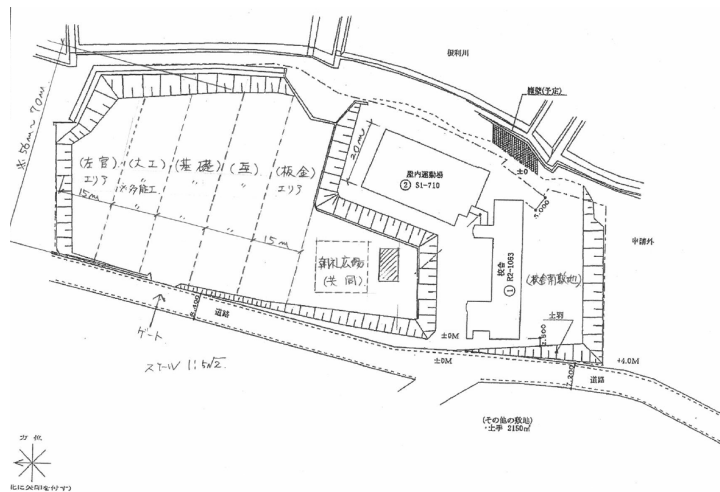
運営組織体制



訓練の開催場所 (廃校利用)



廃校を利用することで施設の設立コストを下げ、それと同時に過疎地域の活性化に繋がる取組として考える。



より実践的な人材育成の手法の確立

短期間で育成を行うと同時に、建設業の魅力を伝える

- ・短期間に職人を育成し、即戦力化する
- ・安全管理や基礎知識などを身につけられる
- ・訓練を受けることにより、離職率が大幅に減少する
- ・ビデオ授業にすることで、安定した教育品質を保つ



座学により、道具の名称や安全管理の重要性などを伝える。



基礎訓練を反復することにより、作業スピードのアップや安全管理の徹底などを身につける。



業種別本訓練により、専門性のある業務を覚えることができる。

実施事業に向けて

2016年4月開校に向けて

1. 群馬県板金工業組合、一般社団法人利根沼田テクノアカデミーと中心に各業界団体などと連携し、効果的な教育プログラムの構築と、求人結び付けるためのノウハウを構築する。
2. 利根沼田アカデミーの運営を恒久的に行える様に、収益をあげられる体制構築を行っていく。専属営業社員の入社なども含めて、能動的に活動できる体制を作り上げる。
3. 教育体制や運営ノウハウをマニュアル化し、全国の地方都市で運営が可能なモデルにするためのパッケージ化を行う。